

「神栖市若松児童館」の概要

神栖市では、子どもの遊びの場の確保として、1中学校区に1児童館の設置を総合計画での目標にしています。その目標に基づいて、未整備地区だった若松地区（波崎第三中学校区）に児童館を建設することになり、子育て支援関係者など市民12人で構成する建設検討委員会を設置し、地区関係者の意見要望等を聴き建築計画の参考にしながら整備を進めました。

1. 施設概要

オープン 平成22年4月25日

所在地 神栖市太田新町一丁目1番地3

敷地 3,885㎡（グラウンド、バスケットボールハーフコート、
駐車スペース（34台分）を含む）

建物 床面積：375.80㎡

構造：鉄骨造平屋建て

内容：幼児・集会室（92.07㎡）

遊戯・創作活動室（100.38㎡）

図書室（28.73㎡）

静養相談室（8.55㎡）

事務室（27.14㎡）

倉庫（19.07㎡）

給湯室、トイレ、ロビー等（99.86㎡）

事業費 1億4,751万1千円

（県補助金：2,238万2千円）

その他 エコシルフィ設備を設置し、室内の空気対流による冷暖房の効率化を図った。

2. 運営状況

運営主体 指定管理者（大新東株式会社）

職員体制 11人（臨時職員を含む）

利用時間 午前9時～午後5時30分

休館日 年末年始（12月29日～1月3日）

利用対象 0歳から満18歳までの者

利用見込み人数 年間15,000人

1日平均利用者数 109人（22年4月25日～6月30日）

主な行事 サマーフェスティバル、運動会、ハロウィン、節分会、ひなまつり

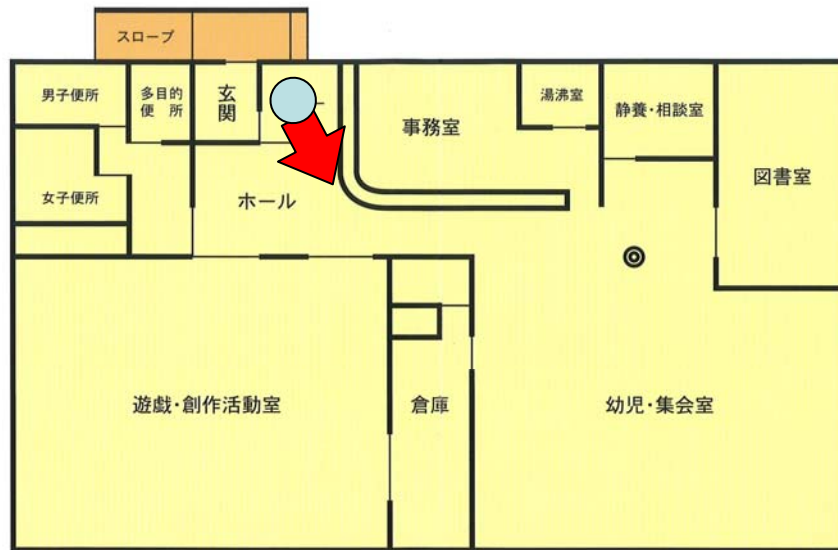
小学生対象：エンジョイクラブ、茶道教室、サッカー教室、バスツアー、クッキング

乳幼児親子対象：コアラクラブ、パンダクラブ、さくらんぼルーム、おはなし会、育児講座

神栖市立若松児童館



玄関から内部を見る



上り口から内部を見ます、左側が事務室です。
正面に消毒液が見える所が受付で、利用者が記入します。

図書室方向を見る



ホールから図書室方向を見ます、左側が事務室、右下が受付です。
事務室はオープンとなっており、各部屋が見渡せるようになっています。

相談・静養室(テーブルとベット)



静養・相談室は事務室横で入退出の目が届くようになっています。
写真には写っていませんが、ベットを囲むようにカーテンが付いています。
また、授乳室としての利用も想定してあります。

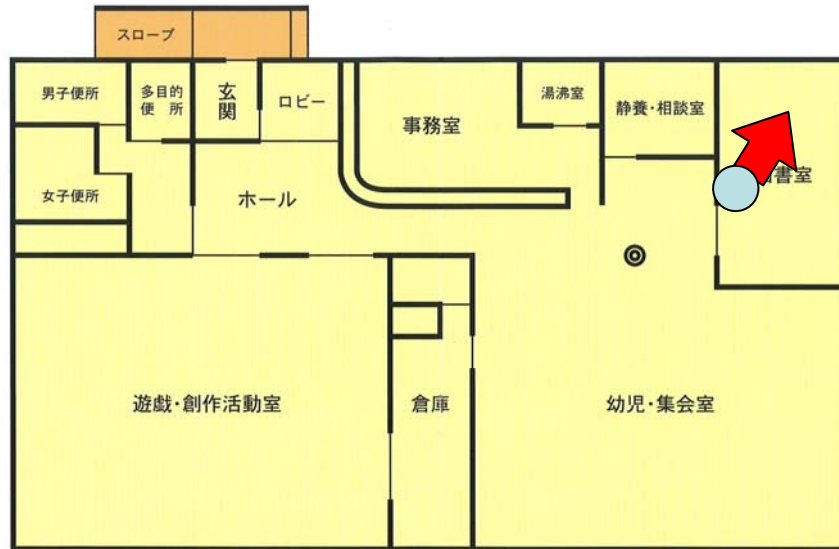
幼児室・集会室



集会室・幼児室です。

採光面積が広く明るい部屋となっています。

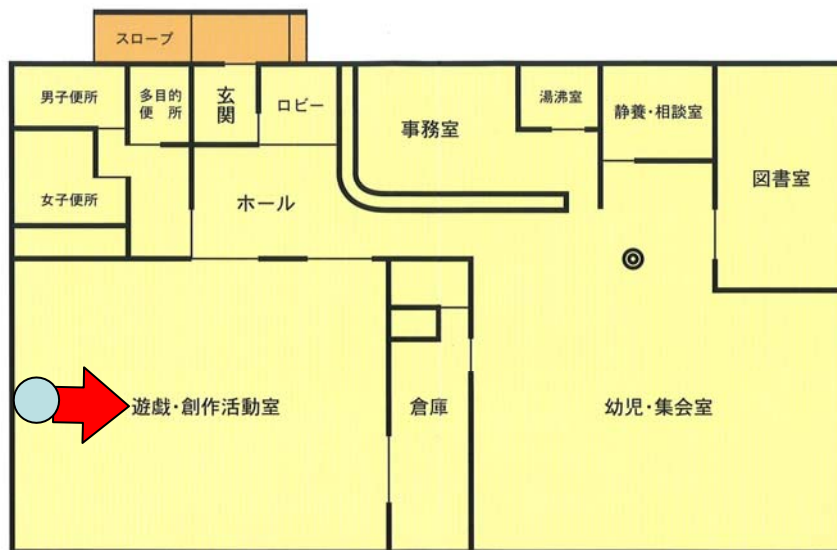
図書室



図書については開館にあたり1千冊用意しました。

この部屋はドアが付いており、独立した使い方が出来ます。

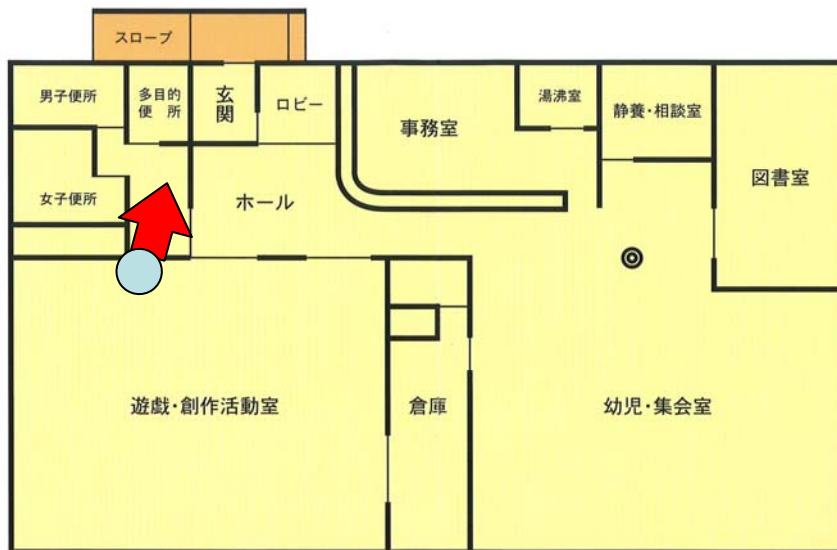
遊戯・創作活動室



必要に応じ部屋を分けて使用することを想定しています。

ボール遊びや卓球、バドミントンを想定した天井高となっています。

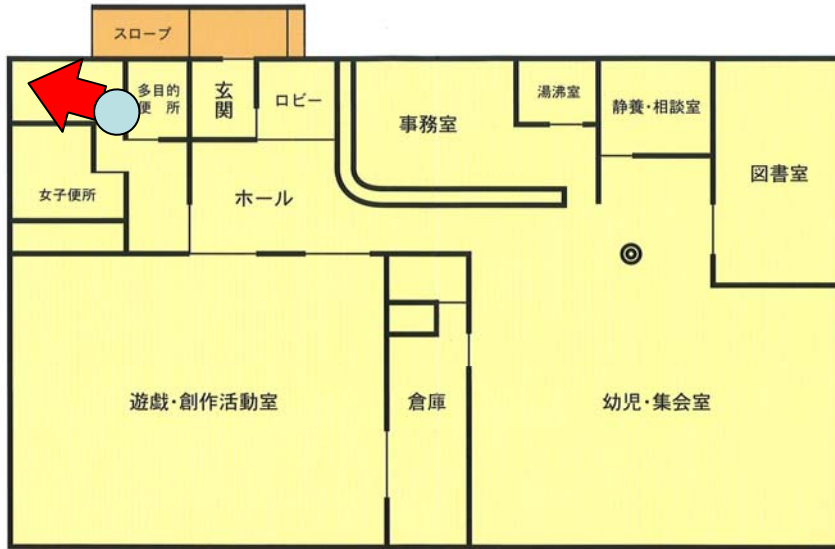
手洗い場



屋内の手洗い場はトイレ内を除くとここだけとなります。

左側のドアが多目的便所でベビーベッドが備えてあり、ドアの赤丸の部分に表示されています。

トイレ内ベビーシート



通常のトイレ内にはベビーシートが用意されています。

園庭(施設外見・遊具とバスケットコート) 独自工夫の駐車場表示



園庭は土の状態ですが、芝等は今後の課題となっています。

木陰等については、植栽された樹木の生長を待っている状況です。

高校生等が利用できるようバスケットボールのハーフコートを用意してあります。

駐車場には妊婦さんやベビーカーへの対応のため区画線の幅の広い箇所(5箇所)が用意されています。

駐車場は身障者用・幅広区画を含めて34台、その他に仮設駐車場を30台分用意してあります。